

令和7年度第4回喜界町地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時	令和8年1月29日(木) 10:00～
場 所	喜界町役場1階多目的室
出席者	<p>26名</p> <p>【委員】</p> <p>隈崎 悦男 (喜界町長)</p> <p>中村 幸雄 (喜界町企画観光課長)</p> <p>平馬 尚樹 (喜界町保健福祉課長)</p> <p>廣 清太 (喜界町教育委員会総務課長)</p> <p>土岐 和貴 (喜界町議会総務文教常任委員長)</p> <p>萩原 勤 (株式会社喜界総合企画 管理課長)</p> <p>實田 江利子 (有限会社日の出タクシー 運行管理者) ※代理</p> <p>三山 八十三 (喜界町区長会連絡協議会 会長)</p> <p>積山 泰夫 (喜界町長寿会連合会 会長)</p> <p>榊 登志幸 (九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官)</p> <p>谷口 誠一 (九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官)</p> <p>寺地 良知 (鹿児島県大島支庁喜界事務所長)</p> <p>英 憲仁 (喜界町まちづくり課長)</p> <p>徳永 信之 (鹿児島県奄美警察署喜界幹部派出所 巡査部長) ※代理</p> <p>鈴木 圭祐 (鹿児島県総合政策部交通政策課長) WEB参加</p> <p>竹下 真佳 (鹿児島県総合政策部交通政策課 主幹) WEB参加</p> <p>園田 直樹 (認可地縁団体コミュニティ喜界協議会 代表)</p> <p>都 一成 (医療法人徳洲会喜界徳洲会病院 総務課事務長)</p> <p>宮本 一徹 (喜界島観光物産協会長)</p> <p>西尾 勝幸 (喜界町地域公共交通活性化協議会 代表社員)</p> <p>界田 満仁 (社会福祉法人喜界町社会福祉協議会長)</p> <p>徳 成寿 (合同会社孝心 代表社員)</p> <p>【関係者】</p> <p>黒木 伸一 (株式会社九州経済研究所)</p> <p>松尾 大悟 (株式会社九州経済研究所)</p> <p>新入 智哉 (株式会社九州経済研究所)</p> <p>【事務局】</p> <p>八木 敏文 (喜界町企画観光課 企画調整チーム 補佐)</p>
欠席者	<p>【委員】</p> <p>山崎 望 (一般社団法人奄美自動車連合会 専務理事)</p> <p>久保 秀樹 (株式会社喜界総合企画 運転者代表)</p> <p>上村 聡 (奄美海運株式会社 執行役員総務部長)</p>
会次第	1. 開会

	<p>2. 町長挨拶</p> <p>3. 協議</p> <p>(1) 公共交通計画（案）について</p> <p>(2) 自家用有償旅客運送（公共ライドシェアバス）の経緯及び状況について</p> <p>(3) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）について</p> <p>(4) 鹿児島運輸局からの情報提供について</p> <p>(5) その他</p>
資料	<p>・会次第</p> <p>・出席者名簿</p> <p>資料1 喜界町公共交通計画（案）について</p> <p>資料2 自家用有償旅客運送（公共ライドシェアバス）の経緯及び状況について</p> <p>資料3 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定等に係る事業）について</p> <p>資料4 鹿児島運輸局からの情報提供について</p>

2. 町長挨拶

本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

関係各位におかれましては、日頃より本町公共交通関連業務におきましてご理解ご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

今年度は、「地域公共交通計画」の策定等が主な議題となっております。後ほど九州経済研究所より計画案について説明がございます。

さらに、昨年12月20日、奄美航空が本町のバス事業から撤退しました。撤退後はこの活性化協議会で一時的に運営しておりますが、現在の状況等について担当から説明がございます。

本協議会での議論が地域の実情に即した持続的な交通サービスを構築する一歩となりますので、限られた時間ではございますが、皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただきますようお願いしまして、開会のあいさつといたします。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

3. 協議

(1) 公共交通計画（案）について

（九州経済研究所） 資料1に沿って説明

（徳オブザーバー） 交通弱者の定義は？

（九州経済研究所） 介護が不要で一人で外出ができる人を定義している。

（園田委員） バスの補助金制度はどのようなものか？ 無料バス制度はどのような制度か？

(事務局) 南と北の巡回線があり、2年連続で収支率が16.66%を下回ると県の補助金がもらえないシステムで年間約1,000万円程度となっている。あとは町の補助金で賄っている。

(平馬委員) 本町に住所登録を有する70歳以上が対象で、年額は1,200円。

(事務局) 修正が多いため、資料が訂正でき次第、公共交通計画(案)の書面決議を行いたい。

【決議】 書面決議を行うことで承認

自家用有償旅客運送(公共ライドシェアバス)の経緯及び状況について

(事務局)

資料2に沿って説明

(委員) 質疑なし

【決議】 承認

資料3 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)について

資料3に沿って説明

(委員) 質疑なし

【決議】 承認

資料4 鹿児島運輸局からの情報提供について

(委員) 質疑なし

その他

(隈崎会長) 公共ライドシェアバスの運行は、今年3月までを予定としている。そおれまでに民間への移行が困難なため、さらに1年間、協議会が主体となって運行を継続することを委員の皆さんに確認したい。

【決議】 承認

(土岐委員) フェリーの船員が体調不良で欠勤し、船が来ないことがある。農家にとっては死活問題であり、臨時便などの対応を早急に連絡できる体制を整えてほしい。

(事務局) フェリー減便対策の作業部会を立ち上げており、県や奄美群島広域事務組合へ提言を行っ

ていく予定。

4. 閉会